

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会

1. 事業の概況

特定非営利活動法人（3生都管第143号、令和3年5月31日更新）（以下、「当NPO」と記す。）として、富士山測候所を学術や教育等の分野において有効に活用し、また、自立的かつ安全に測候所の維持管理が行える体制整備を行い、その成果を社会に還元するべく活動を行った。

2024年の夏期観測は、7月1日から9月6日まで68日間にわたり山頂観測を実施し、延べ401人が参加し、32件のプロジェクトを無事終了することができた。

寄付活動に法人全体で取り組み、その結果、各種企業から個人までのべ105件、合計2,193,028円の寄付を受領できた。また、2020年度に行ったクラウドファンディングの支援者へのリターンのうち、山頂への支援者の案内等（測候所内で行われる富士山学校の参加、24時間滞在、ガイド付き登山等）を2名の方について7月24日から25日に実施した。残りのリターンについては、引き続き検討することとした。

当NPOによる研究活動の資金として、一般財団法人WNI気象文化創造センター、一般財団法人新技術振興渡辺記念会、Yahoo!基金、公益財団法人ふじのくに未来財団、富士山後世継承事業費補助金、公益信託大成建設自然・歴史環境基金等、多くの機関からの助成・補助等の支援を受けた。

1.1. 総合的運用事業

(1) インフラ関係

- 山頂までの送電系統にある1号柱から73号柱までの架空送電線等について、2024年4月16日から23日に点検作業を実施した。また、山頂庁舎電気設備、ケーブルハット等の点検を2024年6月21日に実施した。
- 架空送電線路の支障樹木の伐採について、2024年5月14日沼津森林事務所の森林官立会いの下、現地調査を実施した。その結果を受け、6月24日～30日に№2号柱～№36号柱間、12月13日に№36号柱～№50号柱間、2025年3月25日に残りの№50号柱～№65号柱間の伐採を行った。
- 長田尾根の埋設ケーブルの点検補修を2024年7月24日、山頂班が行った。埋設ケーブルの点検補修については、関係省庁等との協議を引き続き検討することとしている。
- 太郎坊観測基地の整備を前年度に続き充実し、観測タワーの利用などで通年観測の利用者増を図った。御殿場観測基地においても、基本インフラの整備、メンテナンス環境の構築を昨年度に引き続き行い、利用者の拡充を図った。

(2) 学術的・科学的事業

- 2024 年度はコロナ対策を引き続き実施し、昨年に続けて山頂における夏期観測を実施した。参加プロジェクトは、研究 20 件、活用 12 件、合計 32 件、延参加者数は 401 人であった。コロナ発生前の件数・参加者数に戻りつつあり、盛況であった。
- 太郎坊・御殿場の両サイトにおいて、昨年に続き大学以外の企業グループ（青山シビルエンジニアリング）の参画が行われた。同社によって気象観測が実施され、安定した気象データの取得が行えるようになった。

(3) 環境教育事業

- 大分で活動される「NPO 法人大分に科学を広める会」から当 NPO に講演の依頼があり、2025 年 1 月 18 日に大分県立図書館にて「富士山から見えるサイエンス」というタイトルで [REDACTED] が講演を行った。

1.2. 富士山環境研究センター運営事業

- 科学研究費補助金の申請機関として、富士山環境研究センターにおける研究活動の不正防止規程に基づき、体制整備等自己評価チェックリスト、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリストを文科省に提出するとともに、ホームページに不正行為に関する窓口を開設している。
- 富士山環境研究センターにおける研究活動の不正防止規程に規定する倫理委員会のメンバーとして、法律の知識を有する外部有識者として 2023 年 12 月 1 日付けで顧問弁護士を任命し、2024 年度も継続した。
- [REDACTED] (シニアリサーチフェロー) の「電磁気学的データの高度情報処理を主とした富士山噴火予測精度向上の研究」が科研費の 2024 年度基盤研究 (C) (一般) にセンターとして初めて採択され、研究を開始した。
- 研究センターメンバーは、総勢 10 名（うち、シニアリサーチフェロー 4 名、研究員 2 名、特任研究員 2 名を含む。）となり、原著論文数、学会発表数の増加がみられた。

1.3. 国際・国内シンポジウム開催事業

- 国内シンポジウム事業として、第 18 回成果報告会を 2025 年 3 月 9 日に連合会館（東京都千代田区）において、[REDACTED] により、会場開催と Zoom によるハイブリッド形式で開催した。19 件の発表があり、約 60 名の聴講者があった。
- 第 18 回成果報告会講演予稿集を作成し、講演者、会員及び支援団体、報道機関等、約 300 名に郵送配布した。また、報道関係者を招聘した。

1.4. 出版情報発信等広報事業

- マスコミ等メディア（新聞、TV、ラジオ等）への露出回数は、約 40 件であった。特に [REDACTED]

■を中心とした、マイクロプラスチックに関する報道が注目されていた。■
■による防災講座や地震・火山予知関係のニュースはブログなどでのアクセスが多かった。

- 一般市民を対象として会の活動状況を「わかりやすく」情報発信するため、資料の整備、ホームページの改善等を継続して実施した。また、SNSに関して、ブログ、インスタグラムに、2020年6月からX（旧ツイッター）を加え、ホームページへのアクセス数を増加させた。夏期2ヶ月間ににおいては山頂からのライブカメラ配信をYoutube上で行い、合計2,100を超えるチャンネル登録者数を得た。また、2024年1月からのメールマガジンの発行を継続した。
- 「芙蓉日記の会」を広報活動の一環として、Zoom会議を併用し、歴史研究者、編集者、翻訳家など国内外の人文社会研究者も含めた活動範囲を広げた。特に野中家の資料の検討のみならず、測候所勤務者の記録などの収集にも努めた。また、東京理科大学の創設者シリーズ第2弾企画展『富士山観測』が2024年9月26日から12月14日まで開催され、富士山測候所のジオラマ展示や資料提供等、全面的に協力した。

1.5. その他目的を達成するために必要な事業（事業運営基盤の整備等）

- 事業運営を支える資金については、一般財団法人WNI気象文化創造センター、一般財団法人新技術振興渡辺記念会、Yahoo!基金、公益財団法人ふじのくに未来財団、富士山後世継承事業費補助金、公益信託大成建設自然・歴史環境基金等、多くの機関からの助成・補助等の支援を受けた。
- 雇用形態の多様化に対応し、在宅勤務を可能とするテレワーク勤務規程に基づき、勤務の弾力化を図るため、テレワーク勤務体制の活用を進めた。
- 富士山特別地域気象観測所（旧測候所）第5期の借用契約を2023年9月6日に締結した。貸付期間は2023年9月11日から2028年9月10日である。なお、新たに庁舎に隣接する土地の一部（雪囲い内部）について、越冬用研究観測機材の設置が認められた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 41,909 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
1. 総合的運用事業	(1)インフラ関係						
	イ. 空送電線等の点検						
	①山頂までの1号柱から73号柱までの架空送電線等について、点検作業を実施	24/4/18～4/20 24/6/27	山頂までの1号柱から73号柱までの架空送電線等	数名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	約500名	
	②山頂庁舎電気設備及びハット送電線路定期点検	24/6/19～6/22					
	③架空送電線路の支障樹木の伐採について現地調査及び伐採の実施	1回目 24/6/25～6/28 2回目 24/12/13 3回目 25/3/25 24/7/24					
	④長田尾根の埋設ケーブルの点検補修		長田尾根の埋設ケーブル	数名	山頂班		
	ロ. 富士山頂登山者への安全提供						
	静岡県の富士山後世継承事業費補助金を受領し、登山客への安全提供として、山頂・剣ヶ峰にて、①ライブカメラによる山頂気象情報の配信、②富士山測候所内のAED常設を行った。	24/7/1～24/8/31	山頂	10名	富士山登山者	不特定多数	
	(2)科学的・学術的事業						
	イ. キックオフミーティング	24/5/06	連合会館(ハイブリッド)	40名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	約200名	
	関係者（観測参加者、山頂班及び事務局）を対象に、キックオフミーティングを						

実施し、安全ルール等について徹底を図った。					
□. 観測研究の実施支援					
① 富士山測候所の管理・運営 山頂班による庁舎内外の点検・維持管理、除雪作業等	24/6/18～9/9	富士山測候所	山頂班数名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	延 500名
② 山頂観測 コロナ感染対策をしつつ夏期山頂観測を実施した。32プロジェクトが観測を実施し、延 401 名が参加	24/7/1～9/6	富士山測候所	約 400名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	延 500名
③ 太郎坊基地における観測 太郎坊観測所を強化し 6 事業が観測を実施し、延 120 名が参加	7月下旬から（一部、通年観測）	太郎坊観測所	約 120名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	約 120名
④ 御殿場基地における観測 御殿場基地を利用し、4 事業が観測を実施し、約 60 名が参加	8月上旬から（一部、通年観測）	御殿場基地	約 60名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	約 100名
④データ検討会 2024 年の山頂・太郎坊・御殿場基地の観測結果を中心 にデータ検討会を行った。	24/12/21	会場及び Zoom ハイブ リッド	30 名	夏期観測参加者（研究者、事業者等）	30 名
(3)環境教育事業					
「NPO 法人大分に科学を広める会」から講演依頼があり、「富士山から見えるサイエンス」というタイトルで [REDACTED]	25/1/18	大分県立図書館	30 名	一般・市民	不特定多数
富士吉田市富士山レーダードーム館リニューアルのためのコンテンツ提供および展示に継続して協力	通年	富士吉田市富士山レーダードーム館	数名	一般・市民	不特定多数
(4)助成等による調査研究事業の実施					

	①助成事業「Estimation of NOx content of lightning discharge origin using Mt. Fuji」(WNI 気象文化創造センター「気象文化大賞（アジア太平洋地域助成事業）」助成)を実施した。	24/7/1～25/6/30	富士山測候所、太郎坊観測所、及び御殿場基地	数名	研究者・学生等	不特定 多数	
	②助成事業「複数地点での測定による富士山頂での雨量および風向・風速の高精度観測」(WNI 気象文化創造センター「気象文化大賞）」助成)を実施した。	24/7/1～25/6/30	富士山測候所、太郎坊観測所、及び御殿場基地	数名	研究者・学生等	不特定 多数	
	③ 助成事業「ボトムアップ型科学計測による富士山噴火監視通年モニタリング」(Yahoo!基金助成)を実施した。	24/4/1～25/3/31	富士山測候所、太郎坊観測所、及び御殿場基地	数名	研究者・学生等	不特定 多数	
	④ 助成事業「富士山山腹・太郎坊における通年環境科学モニタリング」(ふじのくに未来財団助成事業)を実施した。	24/09/01から 25/8/30	太郎坊観測所及び御殿場基地	数名	研究者・学生等	不特定 多数	
2. 富士山環境研究センター事業	イ. 調査研究受託事業 ████████ (シニアリサーチフェロー) の「電磁気学的データの高度情報処理を主とした富士山噴火予測精度向上の研究」が科研費の 2024 年度基盤研究 (C) (一般) にセンターとして初めて採択され、研究を開始した。	24/6/12～25/3/31	山頂、太郎坊基地、御殿場基地	数名	研究者・学生等	不特定 多数	2,792
	ロ、研究体制の充実 シニアリサーチフェロー2名、特任研究員 1 名が着任した。この結果、研究センターメンバーは、総勢 10 名 (うち、シニアリサーチフェロー4 名、研究員 2 名、特	通年	山頂、太郎坊基地、御殿場基地	10 名	研究者・学生	不特定 多数	

	任研究員 2 名を含む。) となつた。 原著論文数、学会発表数の増加がみられた。						
	ハ、科研費の申請 奨励研究種目に各 1 件応募したが、不採択であった。 今後も、申請を継続する。	通年	山頂、太郎坊、御殿場基地	10 名	研究者・学生	不特定多数	
3. 国際・国内シンポジウム等開催事業	第 18 回成果報告会 オンラインによる成果報告会を実施した。メディア関係者を招聘した。	25/3/9	連合会館 (会場及び Zoom によるハイブリッド形式)	60 名	研究者・学生	100 名	0
4. 出版・情報発信等 広報事業	イ.HP による情報発信 ①インスタグラムでの投稿を継続、②ブログ投稿を継続した。③X (旧ツイッター) による迅速な情報発信を行った。④メールマガジンを発行した。	通年	事務局	延 10 名	会員・一般	不特定多数	
	□、書籍、新聞、放送等による情報発信 メディア露出度を大幅に増大させた。	通年	各地	延 60 人	会員・一般	不特定多数	
	ハ、会報誌、パンフレット等出版物 ①会報「芙蓉の新風」 Vol. 19 を発行した。②要覧 2025 を発行した。	25/1/1	事務局	10 名	会員・一般	不特定多数	0
	二、講演・プレゼン等						
	① 講演 [REDACTED] NPO 法人 大分に科学を広める会科学講演会「富士山から見えるサイエンス」	25/1/18	大分県立図書館	数 10 名	一般	不特定多数	
	② 招待講演 [REDACTED] [REDACTED]; 大気中マイクロプラスチックの講演	24/12/21	生活協同組合パレスステム東京 新宿本部	数 10 名	一般	不特定多数	

5. その他 目的を達成 するために 必要な事業	(1) テレワーク勤務体制の 活用 雇用形態の多様化に対応 し、在宅勤務を可能とする テレワーク勤務規程に基づ き、勤務の弾力化を図るた め、テレワーク勤務体制の 活用を進めた。	年間	東京事務所	2名	NPO 職員	会員、 役員等	0
-----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-------	----	--------	------------	---

(2) **その他の事業** 実施なし

事業報告用

2024年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会
(単位：円)

科 目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	1, 615, 000 396, 500	2, 011, 500
2 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	1, 796, 528	1, 796, 528
3 受取助成金等 受取助成金 受取補助金	10, 431, 848 389, 000	10, 820, 848
4 事業収益 事業収益	57, 857, 503	57, 857, 503
5 その他の収益 受取利息 雑収益	17, 688 8, 000	25, 688
経常収益計		72, 512, 067
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費 給料手当 役員報酬 労務委託費 福利厚生費		10, 596, 499
(2) その他経費 業務委託費 印刷製本費 旅費交通費 運搬費 通信費 消耗品費 外注委託費 し尿処理費 水道光熱費 送電線等保全費 地代家賃 賃借料 減価償却費 保険料 諸会費 雑費	435, 000 142, 510 3, 003, 964 12, 600, 894 385, 669 1, 180, 894 2, 308, 350 606, 100 4, 298, 763 4, 023, 800 1, 122, 039 419, 211 280, 980 360, 833 27, 000 116, 536	31, 312, 543
事業費計		41, 909, 042
2 管理費		
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 通勤費	12, 838, 530 971, 977 1, 146, 020	14, 956, 527
(2) その他経費 印刷製本費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品 費 水道光熱費	60, 638 151, 690 453, 185 437, 430 262, 583	6, 954, 282

	地代家賃 賃借料 諸会費 租税公課 支払手数料 雜費	1,800,000 37,590 5,000 1,995,400 1,510,393 240,373
	管理費計	21,910,809
経常費用計		63,819,851
当期経常増減額	【A】 - 【B】	... ①
【C】 経常外収益		8,692,216
	固定資産売却益 過年度損益修正益	
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		0
	固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損	
経常外費用計		0
当期経常外増減額	【C】 - 【D】	... ②
税引前当期正味財産増減額	(1)+(2)	... ③
	法人税、住民税及び事業税	... ④
	前期繰越正味財産額	... ⑤
次期繰越正味財産額	③-④+⑤	44,137,718

貸 借 対 照 表

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位 : 円)
令和7年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前 受 金	63,000
小口 現金	82,991	預 り 金	83,387
普通 預金	41,534,877	仮 受 金	7,959
現金・預金 計	41,617,868	未 払 法人税等	141,000
(売上債権)		未 払 消費税等	1,050,500
未 収 金	849,672	流動負債合計	1,345,846
売上債権 計	849,672		
(その他流動資産)		【固定負債】	
前 払 金	66,000	修繕積立金	1,200,000
その他流動資産 計	66,000	固定負債合計	1,200,000
流動資産合計	42,533,540	負債合計	2,545,846
【固定資産】		正 味 財 産 の 部	
(有形固定資産)		前期繰越正味財産	35,586,502
構 築 物	4,200,000	当期正味財産増減額	8,551,216
機械及び装置	1,895,000	正味財産合計	44,137,718
什器 備品	3,807,944		
器具 備品	799,040		
減価償却累計額	△ 7,193,976		
有形固定資産 計	3,508,008		
(投資その他の資産)			
差入保証金	42,016		
敷 金	600,000		
投資その他の資産 計	642,016		
固定資産合計	4,150,024		
資産合計	46,683,564	負債及び正味財産合計	46,683,564

財産目録

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位:円)
令和7年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)	
小口 現金	82,991
普通 預金	<u>41,534,877</u>
現金・預金 計	<u>41,617,868</u>
(売上債権)	
未 収 金	849,672
売上債権 計	<u>849,672</u>
(その他流動資産)	
前 払 金	66,000
その他流動資産 計	<u>66,000</u>
流動資産合計	42,533,540

【固定資産】

(有形固定資産)	
構 築 物	4,200,000
機械及び装置	1,895,000
什器 備品	3,807,944
器具 備品	799,040
減価償却累計額	<u>△ 7,193,976</u>
有形固定資産 計	3,508,008
(投資その他の資産)	
差入保証金	42,016
敷 金	<u>600,000</u>
投資その他の資産 計	<u>642,016</u>
固定資産合計	4,150,024
資産合計	46,683,564

《負債の部》

【流動負債】

前 受 金	63,000
預 り 金	83,387
仮 受 金	7,959
未払法人税等	141,000
未払消費税等	<u>1,050,500</u>
流動負債合計	1,345,846

【固定負債】

修繕積立金	<u>1,200,000</u>
固定負債合計	<u>1,200,000</u>
負債合計	2,545,846

正味財産

44,137,718

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、一般会計基準によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 無し

(2) 固定資産の減価償却の方法 定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

 - ・ 退職給付引当金

(4) 修繕積立金は収支状況に基づき、任意に引き当てをする。
施設の提供等の目的的サービスを受けた場合の会計処理 無し

(5) 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(6) 損益状況

科目	総合運用事業	富士山環境研究センター事業	国際及び国内シンポジウム等開催事業	出版、情報発信等の広報事業	その他の事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	2,011,500				1,796,528		2,011,500	2,011,500
2. 受取寄附金	1,796,528				10,431,848		1,796,528	10,431,848
3. 受取助成金等	3,071,848	7,360,000			389,000		389,000	389,000
4. 受取補助金	389,000					0	0	0
4. 贊助金						57,857,503		57,857,503
5. 事業収益	57,857,503				25,688		25,688	25,688
6. その他収益	25,688							
経常収益計	65,152,067	7,360,000	0	0	0	70,500,567	2,011,500	72,512,067
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
労務委託費	10,596,499	0				10,596,499		10,596,499
御殿場基地人件費	0	0				0	0	0
人件費計	10,596,499	0	0	0	0	10,596,499	0	10,596,499
(2) その他経費								
総合運用事業費						0		0
受託事業原価						0		0
消耗品費	812,156	368,738				1,180,894		1,180,894
運搬費	12,560,194	40,700				12,600,894		12,600,894
通信費	245,783	139,886				385,669		385,669
外注委託費	1,787,560	955,790				2,743,350		2,743,350
印刷製本費	142,510	0				142,510		142,510
修繕費	0	0				0		0
し尿処理費	606,100	0				606,100		606,100
送電線等保全費	4,023,800	0				4,023,800		4,023,800
水道光熱費	4,298,763	0				4,298,763		4,298,763
賃借料	1,541,250	0				1,541,250		1,541,250
旅費交通費	1,743,756	1,260,208				3,003,964		3,003,964
減価償却費	280,980	0				280,980		280,980
傷害保険料	360,833	0				360,833		360,833
その他諸事業費	116,536	27,000				143,536		143,536
環境教育事業費	0	0				0		0
その他経費計	28,520,221	2,792,322	0	0	0	31,312,543	0	31,312,543
事業費計	39,116,720	2,792,322	0	0	0	41,909,042	0	41,909,042
2. 管理費								
(1) 人件費								
事務局人件費	0	0	0	0	0	14,956,527		14,956,527
(2) その他経費								
謝金						0		0
通信費						0	453,185	453,185
旅費交通費						0	151,690	151,690
荷造り運賃						0	0	0
水道光熱費						0	262,583	262,583
事務所家賃						0	1,800,000	1,800,000
賃借料						0	37,590	37,590
会議費						0	0	0
事務用消耗品費						0	437,430	437,430
備品消耗品費						0	0	0
修繕費						0	0	0
印刷費						0	60,638	60,638
損害保険料						0	0	0
新聞図書費						0	0	0
租税公課						0	1,995,400	1,995,400
諸会費						0	5,000	5,000
支払手数料						0	1,510,393	1,510,393
雑費						0	240,373	240,373
配分管理費						0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	6,954,282	6,954,282
管理費計	0	0	0	0	0	0	21,910,809	21,910,809
経常費用計	39,116,720	2,792,322	0	0	0	41,909,042	21,910,809	63,819,851
当期経常増減額	26,035,347	4,567,678	0	0	0	28,591,525	-19,899,309	8,692,216

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

内容	金額	算定方法
無し		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期減少額	期末残高	備考
富士山後世継承事業費補助金	0		0	
合計	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	期首帳簿価額	償却実施額	期末帳簿価額
有形固定資産					
構築物	0	699,017	93,802	605,215	0
機械装置	0	17,627	17,609	18	0
総合運用事業用什器備品	0	2	39,952	759,090	0
研究センター用什器備品	0	1,102	1,097	5	0
管理用什器備品	0	2,989,948	280,980	3,508,008	0
計	0	0	0	0	0
無形固定資産					
投資その他の資産			0	0	0
保証金	150,333				
敷金	830,000	-230,000	150,333	42,016	
計	980,333	-230,000	150,333	600,000	
合計	980,333	-230,000	150,333	0	642,016

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	期末残高
無し	0	0	0
合計	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)受取寄附金	1,796,528	
活動計算書計	1,796,528	0
(貸借対照表)前受金	66,000	0
貸借対照表計	66,000	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
無し
- ・ その他の事業に係る資産の状況
無し

年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役職 名	(フリガナ)	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間
		氏名		
1	理事	イデ リカ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		井出 里香		
2	理事	オオコウチ ヒロシ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		大河内 博		
3	理事	オノデラ ショウ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		小野寺 昇		
4	理事	カタヤマ ヨウコ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		片山 葉子		
5	理事	カトウ シュンゴ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		加藤 俊吾		
6	理事	カネヤス ナオキ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		兼保 直樹		
7	理事	カモガワ マサシ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		鴨川 仁		
8	理事	コバヤシ ヒロシ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		小林 拓		
9	理事	サクライ ヨシユキ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		櫻井 芳之		
10	理事	ササキ カズヤ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		佐々木 一哉		
11	理事	タナカ フミオ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		田中 文男		
12	理事	タナカ ヨシロウ	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
		田中 義朗		

事業報告用

13	理事	ドキヤ ユキコ 土器屋 由紀子		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
14	理事	ナガオ トシヤス 長尾 年恭		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
15	理事	ナンザイ ベン 南齋 勉		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
16	理事	ナンジョウカズヨシ 楠城 一嘉		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
17	理事	ハタケヤマ シロウ 畠山 史郎		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
18	理事	ハルナ カオル 春名 薫		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
19	理事	ヒライ ノブユキ 平井 信行		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
20	理事	ヒロセ カツミ 廣瀬 勝己		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
21	理事	フジイ トシツグ 藤井 敏嗣		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
22	理事	フルタ ユタカ 古田 豊		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
23	理事	ミウラ カズヒコ 三浦 和彦		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
24	理事	ミナミ ユキヤ 皆巳 幸也		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
25	理事	ムラタ コウタロウ 村田 浩太郎		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
26	理事	ヤマモト マサヨシ 山本 正嘉		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
27	理事	ワダ リュウイチ 和田 龍一		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし
28	監事	イワサカ ヤスノブ 岩坂 泰信		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	報酬なし

社員名簿(社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人_富士山測候所を活用する会

	氏名
1	井出 里香
2	大河内 博
3	小野寺 昇
4	片山 葉子
5	加藤 俊吾
6	兼保 直樹
7	鴨川 仁
8	小林 拓
9	櫻井 芳之
10	佐々木 一哉
11	田中 文男
12	田中 義朗
13	土器屋由紀子
14	長尾 年恭
15	南齋 勉
16	楠城 一嘉
17	畠山 史郎